

---

## 【詩集】 枯れすすき

布袋しぐれ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

【詩集】 枯れすすき

### 【Nコード】

N7356X

### 【作者名】

布袋しぐれ

### 【あらすじ】

布袋しぐれの徒然なる詩集、第一弾。

『 枯れすすき 』

私の生まれの季語から頂いたタイトル。

広がる、私の世界。

## ひとりぼっち

憎らしい あまなこの眼

お前は 今 何を思っているのか

恨めしい あの声援

私には 背を押す人も少ないというのに

憎らしさも 恨めしさも 底から沸々湧き出でて

心の中を支配していく

可笑しくなっていく

微塵も人間らしさが残らずに

やがて修羅にでもなりそうに

心が操れないのに どうして他人を分かるつか

自分すらコントロールできないのに

どうやって 人を戒められようか

君の引いたラインの数だけ

答えが導けるものならば

救われるというのに

私はただ 心の内で思うのだ

たったひとり

たったひとりで

## 根こそぎ

何も残らない  
このままでは  
何もいえない  
この状態では  
抗うことすら  
できないのなら  
いっそう 恨めればいいのに  
いっそう 消えてしまえたらいいのに  
暗い思いは  
根こそぎ 拭えない

何も言われない  
このままでも  
何も送られない  
声すらも  
愛されないのなら  
痛いままなら  
いっそう 孤独でいい  
いっそう ひとりでもいい  
寂しい思いは  
すっぱり抜けてしまえたらいいのに

根こそぎ拭えないなら  
引っこ抜けないなら  
葬り去りたい  
この気持ち

根こそぎ拭いたくつても  
愛されたい気持ち  
は  
きつと残るから  
根こそぎ拭えないのか

## 満たされる

君の贈るプレゼント  
君の送る言葉  
君のささやく声に  
私は いつも満たされて

微笑む君は まるで  
天使みたいだと  
知れば知るほど  
気付かされる  
感じる 深い慈愛を  
君はまるで『アフロディーテ』の生まれ変わりのよう

純真なる  
無垢なる  
美しい愛の心を  
携えた 君

清らかな  
君の心は  
君の姿に現されて

争うことを忌避する 君  
そんな君を

私は尊敬する

君は輝いて

希望に満たされた未来を突き進む

私は君の優しさに

触れられた瞬間

包まれた瞬間

いっぱい満たされて

幸せになる

## ねがいごと

あなたの問いに答えられない  
なんと答えていいのか分からない

あの人が生きていた頃  
表面上は幸せだった  
そういうあなた

あの人が死んだ今  
皆がバラバラで不幸せだ  
そういうあなた

私はこの自由が嬉しくて仕方ないのに  
あなたはどうしてそういうの

この家に  
団結なんてもの  
初めから  
私の生まれたときから  
存在していなかったじゃない  
私は団結することを知らないまま  
17を迎えました  
そして  
18になろうとしています

あなたの疑問に答えられない  
どう答えたら満点か分からない

私自身がやると何でも上手くいって  
あなた自身がやると上手くいかないから不満だろう  
そういうあなた

そうして数時間後  
けるっとして

親の心は分からない  
子供の心は分からない  
私はあなたを理解してないし  
理解しようとは思わない

あの家で  
感情を押し殺して生きていかないと  
耐えられなかった

『働いてからモノを言え』  
そう押さえつける人と  
『あんたには情はないの』  
そう責め立てるあなたに  
囲まれて

息苦しい十代も終わりかけ  
私に残された最後の仕事が終われば  
きつと自由だ

早く適当に結婚して  
適当に子供を産んで

できることならば

美しいうちに

この命を絶ってしまいたい

もう何も分からなくなってしまうたから

## 朝

寝心地のいい朝  
ぼうつと目を開く  
障子の隙間から  
漏れ出る光が  
温かく 差し込んで  
誰かの優しい 腕のよう

そうして朝を  
ゆっくり迎えたのも  
もう

何年も前の話  
今や叶わぬ  
夢の話

木漏れ陽の差すころ  
目を開けて  
起きることも  
叶わぬ  
時代は流れ  
時間に追われ  
ゆっくりと朝を迎えることも  
今や叶わぬ  
夢の話

夜の明かりを

早く消して

月に顔

照らされながら

早く 眠りについて

深い眠りの淵

明日の憂いも無しに

目覚めの喜びだけを

心に留めて

そうして

迎えたい

心地の良い

朝を

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7356x/>

---

【詩集】枯れすすき

2011年10月21日05時16分発行